

科目名	シューズ実習 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	120	作成者	横内 雅美

【科目の到達目標】

パターン・裁断・縫製・底付け等、製靴の技術及び靴・皮革についての知識の基礎を身につける。

【科目の概要】

独特な製靴技術について、見本や実演を中心に、書籍・プリントを参考にして、実習を進める。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1～2	オリエンテーション スキ機の使い方	31～32 ロングブーツ パターン
3～4	外羽根 パターン	33～34 パターン
5～6	裁断 スキ	35～36 裁断
7～8	ミシン	37～38 裁断
9～10	ミシン	39～40 裁断
11～12	底付け	41～42 製甲
13～14	底付け	43～44 製甲
15～16	プレーンパンプス パターン	45～46 製甲
17～18	パターン	47～48 製甲
19～20	裁断 スキ	49～50 製甲
21～22	製甲	51～52 底付け
23～24	製甲	53～54 底付け
25～26	底付け	55～56 底付け
27～28	底付け	57～58 底付け・ヒール付け
29～30	仕上げ テスト	59～60 仕上げ テスト

【成績評価方法】

提出課題 の評価 60 % 期末試験 30 % 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

『新靴の商品知識』エフワークス(株)
その他プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具 製靴道具一式(ワニ、ハンマー2種、メジャー、市切り、竹バケ、クリップ、木型等)
ミシン、グラインダー、圧着機器

科目名	バッグ実習 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年		講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	片山 知佳

【科目の到達目標】

バッグ制作の技術を習得、また皮革による雑貨制作を通し、幅広く素材の知識を深め、様々なバッグデザインに対応できる基礎的能力を身につける。

【科目の概要】

包丁、ミシン、漉き機などの道具、機械類の使い方、バッグの基本的な構造と型紙の作成、縫製方法を修得する。基本的なバッグの製作方法を理解し習得する。

【授業計画】

90分1コマ		前期	後期
1・2	オリエンテーション		31・32 前期のまとめ 講評
3・4	包丁研ぎ練習 練習課題(コインケース)		33・34 課題3 横マチ外縫いショルダーバッグ
5・6	基礎練習 マチ無しポーチ (内縫い)	35・36	裁断 漉
7・8	基礎練習 マチ無しポーチ (外縫い)	37・38	組み立て
9・10	課題1 落とし込みバッグ・型紙	39・40	組み立て
11・12	裁断 漉	41・42	組み立て
13・14	縫製 組み立て	43・44	組み立て
15・16	縫製 組み立て	45・46	仕上げ 講評
17・18	縫製 組み立て	47・48	自由課題
19・20	まとめ 完成	49・50	裁断 漉
21・22	通しマチ縫い返しポーチ	51・52	組み立て
23・24	裁断 漉	53・54	組み立て
25・26	裁断 組み立て	55・56	組み立て
27・28	裁断 組み立て	57・58	組み立て
29・30	仕上げ テスト	59・60	講評 テスト

【成績評価方法】

提出物の評価60% 期末テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

縫製用具一式、製図用具一式、指定のはさみ、ピンセット、ライター、刷毛

科目名	ヌーベルシャポー実習	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年		講義 10% 実習 90%
時間数	60	作成者	山本美千代

【科目の到達目標】

帽子製作の基礎であり、デザインしやすいハットを習得し、自らのデザインを形成する。
また、後期には前期の課題を応用したデザインを展開し帽子業界で通用する物作りをする。

【科目の概要】

不景気と言われる昨今、売れている商品はシンプルで被りやすく、コーディネートしやすい帽子のため、授業では、基本の型をパターンから裁断、縫製、仕上げまで自ら製作することで技術を習得し、習得した技術を用いて、デザイン性のある物まで対応できるようにする。

【授業計画】

90分1コマ

後期

1・2	6方HAT 製作
3・4	トワール製作
5・6	縫製
7・8	パターン修正
9・10	縫製
11・12	縫製
13・14	↓ 仕上げ
15・16	平天HAT 製作 パターン
17・18	トワール製作
19・20	縫製
21・22	パターン修正
23・24	縫製
25・26	↓ 縫製
27・28	キャスケット 製作 パターン
29・30	テスト

【成績評価方法】

課題作品 前期・後期 各5点の評価60% 授業態度 10% テスト 30%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

各種ミシン(本縫い・二本針・腕) 縫製用具(押え各種など) アイロン 割台 製図用具一式 生地 芯地 その他

科目名	帽子制作&造花実習	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	60	作成者	西井 亜由美

【科目の到達目標】

フェルト帽体や、天然繊維(麦わら、麻ブレード、シゾール、麻ケンマ等の帽体)を木型への型入れによる基本的な型の帽子制作技術と、基本的な造花制作技術の習得

【科目の概要】

近年、アパレル分野において服飾雑貨の必要性は向上しており、その中でも帽子の需要は高まっている。この授業では、天然素材を使用した帽子と、造花によるコサージュを制作し、帽子・コサージュの基本知識を身につける。

【授業計画】

90分/コマ		前期
1・2	オリエンテーション 帽子の型・造花制作の説明 夏帽体選 シゾール、麻ケンマ等、天然素材	
3・4	造花① <カメラア> カット・コテ当て	
5・6	まとめ・仕上げ	
	帽子① <夏帽体>	
7・8	デザイン・クラウン型入れ・アプレビニール ブリム型入れ・スチーム・エッジング	
9・10	トリミング・仕上げ	
11・12	造花② <紫陽花> カット・染色・コテ当て	
13・14	まとめ・仕上げ	
15・16	帽子② <夏ブレード> デザイン・クラウン縫製	
17・18	ブリム縫製・エッジング アプレビニール	
19・20	トリミング・仕上げ	
21・22	帽子③ <フェルト帽子> デザイン・クラウン型入れ	
23・24	ブリム型入れ・スチーム・エッジング トリミング・仕上げ	
25・26	<修了テスト>	
27・28	(帽子④) <夏帽体>プレタポルテ展作品 デザイン・クラウン型入れ・アレンジ・アプレビニール	
29・30	ブリム型入れ・スチーム・アプレビニール・トリミング・仕上げ	

【成績評価方法】

課題作品(デザイン・構成・テクニク・色彩感覚・全体の完成度)
課題作品の評価60%、修業テスト・小テスト30%、平常点10%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

デザインの参考には各種ファッション誌、花の写真。技術面はプリントを配布する。
サロン・ド・シャポー学院『新版 造花の作り方』

【教材・教具】

裁縫道具・クラウン木型・ブリム木型・エッグアイロン・造花コテ各種

科目名	染色	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	28	作成者	長田 綾美

【科目の到達目標】

染色技法基礎の修得。デザインの感性を高め作業を計画的に進めて行く能力を養う。
染料と繊維の関係を学ぶ。
色彩感覚を養い染色のおもしろさを知る。

【科目の概要】

アナログ的な手作りを基本とした制作実習。シルクスクリーン、絞り染めなどの技法を使ってトートバッグ、生地素材などを染めながら染色技法を修得していきます。

【授業計画】 90分/コマ

- 1・2 絞り染め。浸染め。 参考プリントから色々な技法を修得。
- 3・4 絞り染め。浸染め。 参考プリントから色々な技法を修得。
- 5・6 板締め。板の挟み方によって異なるデザインの違いや表情のおもしろさを学習する。
- 7・8 板締め。板の挟み方によって異なるデザインの違いや表情のおもしろさを学習する。
- 9・10 シルクスクリーン。 幾何学模様によるデザイン原稿を制作する。
- 11・12 シルクスクリーン。 幾何学模様によるデザイン原稿の製版を行う。
- 13・14 シルクスクリーン。 トートバッグやTシャツにオリジナルデザインをプリントする。

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 60% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

『染色の基礎知識』 染織と生活社発行

【教材・教具】

各種染料。 刷毛、筆、伸子、張り木、ステンレスタンク、蒸し器等の染色用具。
ガスコンロ、水洗場等の設備。 シルクスクリーン感光器
ガスコンロ、水洗場等の設備。 シルクスクリーン感光器

科目名	刺繡	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	28	作成者	廣岡均子

【科目の到達目標】

手仕事の重要性を理解し、手芸の出来る人材を目指す。

刺繡、手芸の基礎技術習得

【科目の概要】

機械の発達により、縫製技術は発展しているが、機械には成り代われない、手仕事の大切さ、個人の感性、物を作る楽しさを手芸を通して学ぶ。

基礎ステッチ(ドロンワーク、ミラーワーク、ハーダンガ刺繡、クロスステッチ、テープ刺繡)

【授業計画】 90分/コマ

- 1・2 布、糸、はさみ(布30cm×30cm)
基礎ステッチの説明
(ドロンワークフリンジの刺し方)
- 3・4 ミラーワーク、糸、針、歴史の説明
ミラーワーク、刺し始め
- 5・6 テープ刺繡説明
テープのはり方
テープの利用、作品の説明
フリーステッチの説明
(刺繡糸の使い方)
- 7・8 作品の糸始末
- 9・10 ハーダンガ刺繡「歴史民族衣装」
インテリア(テーブルセンターなど)
作品の説明
- 11・12 クロスステッチ説明
図案の仕上がり
寸法の計算方法
参考作品の本を見せて説明
- 13・14 全体のまとめ
期末試験 まとめ

【成績評価方法】

提出課題の評価60% 期末試験30% 授業態度10%

各技法の習得力

色彩感覚

【教科書・参考書】

『RAKAM』(伊)2015年、『NEW STITCHES』(英)出版社クリエイティブ・クラフツ・パブリッシング・リミテッド
基礎プリント配布、『刺しゅう』雄鶏社 平成6年度、北欧雑誌、私物の本毎回持参

【教材・教具】

刺繡針、はさみ、ものさし、待針、しつけ糸、刺繡糸

科目名	色彩構成	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	30	作成者	福田 新之助

【科目の到達目標】

専攻分野でイメージを実現化するうえでの基礎的な表現技術の習得を目指す。

【科目の概要】

・色彩構成の基礎 ・立体構成の基礎 ・描画技術の基礎を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

前期

- | | |
|----|----------------|
| 1 | 色彩構成① ガイダンス&調色 |
| 2 | 色彩構成② 調色と配色① |
| 3 | 色彩構成③ 調色と配色② |
| 4 | 色彩構成④ 明度による配色① |
| 5 | 色彩構成⑤ 明度による配色2 |
| 6 | 色彩構成⑥ イメージ配色① |
| 7 | 色彩構成⑦ イメージ配色② |
| 8 | 色彩構成⑧ イメージ配色③ |
| 9 | 色彩構成⑨ イメージ配色 |
| 10 | デザイン画ヌードボディ① |
| 11 | 絵の具の扱い・グラデーション |
| 12 | デザイン画ヌードボディ②着彩 |
| 13 | ボディへの着彩 |
| 14 | デザイン画着彩 |
| 15 | 前期試験 |

【成績評価方法】

課題60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『デザインの色彩』中田満雄 北畠耀 細野志尚 監修 財団法人日本色彩研究所 日本色研事業株式会社 2版

【教材・教具】

筆記具 鉛筆 絵具セット カッターナイフ 30cm定規 コンパス B4ケント紙 クロッキー帳

【教材・教具】

縫製用具一式、製図用具一式 ヤットコ類

科目名	ファッションデザイン論 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 35% 実習 65%
時間数	120	作成者	濱屋但

【科目の到達目標】

授業メニューを通して、基礎知識・発想力・表現力・分析力・計画性などを身につける。

【科目の概要】

基礎知識を身につけ、新たな情報やトレンド、発想などをプラスして表現する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1.2	授業概要	31.32	マーケットリサーチ
3.4	アパレルの基礎知識	33.34	課題発表
5.6	アパレルの基礎知識	35.36	アパレルデザイン
7.8	靴の基礎知識	37.38	アパレルデザイン
9.10	靴の基礎知識	39.40	ファッション雑貨のデザイン
11.12	課題発表	41.42	ファッション雑貨のデザイン
13.14	外部コンテスト	43.44	ファッション雑貨のデザイン
15.16	外部コンテスト	45.46	課題発表
17.18	外部コンテスト	47.48	デザイン発想
19.2	外部コンテスト	49.5	デザイン発想
21.22	帽子の基礎知識	51.52	デザイン発想
23.24	アクセサリーの基礎知識	53.54	デザイン発想
25.26	ベルトの基礎知識	55.56	課題発表
27.28	まとめ	57.58	まとめ
29.30	テスト	59.60	テスト

【成績評価方法】

課題 50% (小テスト含む) 試験 30% 授業態度 20%

【教科書・参考書】

スタイリングブック

【教材・教具】

筆記用具 着色用具 カラーカード ファッション雑誌 他

科目名	コンピュータ演習 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	鶴 鉄男

【科目の到達目標】

ファッション業界においてデザイン、企画書作成に必要なPC操作とソフトウェアを活用できるスキルを習得する。

【科目の概要】

Googleクロームを使った各種設定とアプリの操作方法。
PCを使って企画書や商品デザイン書類等を作成する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	メールアカウント設定と課題提出方法 Googleクラスルーム 自己紹介シート	16	シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画1 (Illustrator Photoshopの応用)
2	グーグルクロームとクラウド Googleアプリの解説	17	シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画2
3	描画基礎1 (Illustrator) ペンツール	18	シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画3
4	描画基礎2 (Illustrator) レイヤーと作画	19	シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画4
5	描画基礎3 (Illustrator) 着色と柄	20	シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画5
6	画像加工基礎1 (Photoshop) 切抜き、着色	21	商品企画書1 (Illustrator Photoshop Excelの応用)
7	画像加工基礎2 (Photoshop) サイズ、解像度	22	商品企画書2
8	画像加工基礎3 (Photoshop) レイヤー、合成	23	商品企画書3
9	コンテスト作品デザイン画1	24	商品企画書4
10	コンテスト作品デザイン画2	25	商品企画書5
11	コンテスト作品デザイン画3	26	ポートフォリオ制作1
12	Word基礎 タイピング 文書作成	27	ポートフォリオ制作2
13	Excel基礎 表計算 関数	28	ポートフォリオ制作3
14	パワーポイント基礎 プレゼンテーションシート作成	29	課題 まとめ
15	まとめ テスト アイテムイラスト描画 画像加工	30	テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

参考資料等はPDF、プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具 USBなどフラッシュメモリ

科目名	ドローイング	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	三村逸子 立嶋滋樹

【科目の到達目標】

企画、デザインに必要なイラスト、デザイン画が描画できる力を身に付ける。ファッション業界で仕事をする上で必要な、描画によるビジュアルコミュニケーションを円滑に進めるための能力の開発・習得を目指す。

【科目の概要】

雑貨の基本アイテムである、帽子、バッグ、アクセサリなどの描画法を習得する。自身や他者のプランを描画により視覚化することで、他者(デザイナー・パタンナー・縫製・プレス・上司やクライアント)とのコミュニケーションを図る事ができる力を身に付ける事により、プランニングから製品化・販促への工程をスムーズに進める事を可能とする。

【授業計画】 90分/コマ	前期		後期
1	オリエンテーション モチーフ観察の方法論 (右脳を使った観察方法)	16	着彩表現: 調色とグラデーションについて
2	描画基礎① 線・平面のプロポーション	17	素材表現: マット素材
3	描画基礎② 立体の基礎描写	18	素材表現: 光沢素材
4	描画基礎③ 遠近法と立体の組み合わせ描写	19	素材表現: テクスチャー表現
5	アイテムドローイング① シューズとバッグ	20	アイテムデザイン画 生地表現①
6	アイテムドローイング② シューズとバッグ	21	アイテムデザイン画 生地表現②
7	アイテムドローイング③ シューズとバッグ	22	人物クロッキー①: 人体パーツ描写
8	ディテール表現①	23	人物クロッキー②
9	ディテール表現②	24	オリジナルデザイン画①
10	デザイン画制作(A5)①	25	オリジナルデザイン画②
11	デザイン画制作(A5)②	26	オリジナルデザイン画③
12	オリジナルデザイン画①	27	オリジナルスタイル画①
13	オリジナルデザイン画②	28	オリジナルスタイル画②
14	オリジナルデザイン画③	29	オリジナルスタイル画③
15	前期試験(筆記・実技)	30	後期試験(実技)

【成績評価方法】

課題評価 60%
試験 30%
授業態度 10%

【教科書・参考書】

ファッション雑誌、資料etc
雑貨製品の实物または製品写真の掲載雑誌など

【教材・教具】

筆記用具(鉛筆、消しゴム)、彩色用具一式、クロッキー帳、色鉛筆、ケント紙、カッター、30cm定規etc
デザインセット(彩色用具一式) デッサン用鉛筆、カッターナイフ、クロッキーノート、ケント紙等

科目名	ファッションビジネス論 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	栄 和代

【科目の到達目標】

アパレル業界の仕組み、消費者行動、商品企画、流通、ビジネス上の基礎知識などを解説し、ファッションビジネス検定3級認定を取得する知識を修得する。

【科目の概要】

アパレル業界の企画、生産、販売までの仕組みをビジネス的な観点から解説する。
また、変化するファッションビジネスの現状を最新情報とともに解説する。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 **1-1ファッションビジネス概要**
授業概要説明 ①Fビジネスの定義と特性
- 2 **1-2ファッションビジネス概要**
ファッション雑貨産業の流れ ファッションビジネス最近の傾向
- 3 **2-2ファッション消費と消費者**
①ファッション表現と消費行動 ②ライフスタイルとファッション
- 4 **3-1アパレル産業と小売業**
①アパレル産業の概要 ②アパレル、雑貨メーカーについて
- 5 **3-2アパレル産業と小売業**
②小売業の概要 百貨店・量販店・専門店ほか
- 6 **4-1ファッションマーケティング**
①マーケティングの基礎知識
- 7 **4-2ファッションマーケティング**
②マーケティング上の商品分類(MAP) ③リサーチの基本知識
- 8 **5-1ファッションマーチャンダイジング**
①MDの基本知識 ②商品企画から生産・販売
- 9 **5-2ファッションマーチャンダイジング**
③売場での商品知識
- 10 **6-1ファッション流通**
①流通とは、流通コストと取引
- 11 **6-2ファッション流通**
②小売店の仕組みと業務
- 12 **7-2ビジネス基礎知識**
①会社とは ②企業の組織
- 13 **7-2ビジネス基礎知識**
③企業会計
- 14 **7-2ビジネス基礎知識**
④計数知識
- 15 **試験**

【成績評価方法】

出席率10% 小テスト30% 期末試験60%

【教科書・参考書】『ファッションビジネス[I]』財日本ファッション教育振興協会刊 H21年改訂版

『図解雑学アパレル業界のしくみ』ナツメ社 2011年刊

雑誌『ファッション販売』 商業界

【教材・教具】

レジュメ PCまたはタブレット端末から講義内容をモニターに映写

科目名	シューズパターンメイキングⅠ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	60	作成者	西井 亜由美

【科目の到達目標】

数多くある靴のデザインの基本的なパターンの修得を目標とする。

【科目の概要】

近年、消費者ニーズは、多様化しており、あらゆるデザインへの対応能力が必要とされる。パターン各種の制作から、それを身に付ける

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	プレーンパンプス		16 オーバーニーブーツ
/2			17
3			18
4			19 ブーツサンプル制作
5			20 アンクルブーツ基本
6	基礎原型		21 ブーツ外羽根
7			22
8			23
9	フィットブーツ		24
10			25 ブーツ内羽根
11			26
12	ルーズフィットブーツ		27
13			28
14			29 テスト
15	テスト		30 デテールパターン

【成績評価方法】

課題作品の評価60%、修業テスト・小テスト30%、平常点10%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

『新 靴の商品知識』 エフワークス(株) 『スタイリングブック』

配布プリント

【教材・教具】

製靴工具一式(ワニ、ハンマー2種、メジャー、市切り、竹バケ、クリップ、木型等)

ミシン、グラインダー、圧着機等の製靴機器

科目名	バッグパターンメイキングⅠ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクラフトデザインコース		昼間
学年	1年		講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	橋本みずえ

【科目の到達目標】

バッグのパターン技術の習得。

・型紙の作り方を身につける・基本3型の型紙制作・型紙の基礎を身につける・基本ベースよりデザイン展開

【科目の概要】

バッグの型紙の基礎を習得する。

【授業計画】

90分1コマ

前期

後期

1	型紙基礎	16～18	切り替えバリエーション
2	マチ無しポーチ型紙	19・20	・マチ無しポーチをベースに 知り替えバリエーション
3・4	落とし込みトートバッグ型紙 (底つまみ)	21～24	・落とし込みトートをベースに フォルムバリエーション
5～8	通しマチポーチ型紙(半丸型)	25～28	・マチ無しポーチ型紙(スクエアー) 2年次作品の型紙
9～13	かぶせ付き横マチショルダー	29	テスト
14	テスト	30	まとめ
15	まとめ		

【成績評価方法】

課題作品60%、修了テスト30%、平常点20%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

製図用具一式 ・カッターナイフ ・目打・コンパス・筆記用具・ノート